

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

大和市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

神奈川県大和市

3 地域再生計画の区域

神奈川県大和市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、首都圏から 40 km圏内にあり、市域に 8 つの鉄道駅があるほか、国道 16 号線、246 号線などの道路網も通っているなど、非常に高い交通利便性を有するまちである。

こうしたまちの基盤をベースとし、市制開始当時 4 万人未満であった本市の人口は、神奈川県や近隣市を上回るペースで急激に増加し、1970 年に 10 万人を、1992 年には 20 万人を超えた。

また、近年においても、微増傾向が続いており、本市の人口（住民基本台帳）は 2014 年 10 月に 233,403 人だったものが 2024 年 10 月時点では、245,468 人となっている。

自然増減に目を向けると、2018 年に▲97 人の自然減に転じ、2023 年には▲727 人の自然減となり、減少幅が拡大した状況である。また、合計特殊出生率に関しては、2015 年に全国水準を上回る値を記録し、その後は、国、県と同様に下降傾向であり、2021 年は 1.30 となっている。

一方、社会増減に目を向けると、全体的にはいまだ社会増を維持しており、2018 年は 432 人、2023 年は 1,161 人の社会増となっている。

人口構成割合において、2008 年から 2024 年にかけて、年少人口（0～14 歳）の割合は 13.8%（30,411 人）から 11.9%（29,207 人）に、生産年齢人口（15～64 歳）の割合は 68.3%（150,838 人）から 64.2%（157,639 人）にそれぞれ減少

しているのに対し、65 歳以上人口の割合は徐々に増える傾向にある。特に 2013 年には高齢化率が 21% (48,707 人) を超え、超高齢社会に突入しており、その後も、上昇を続け 2024 年には高齢化率 23.9% (58,622 人) となっている。なお、市の南部地域では、北部、中部地域に比べて、高齢化率が高く、地域間で差異がみられている状況である。

市独自に実施した人口推計によると、2035 年に人口のピークを迎え、249,911 人となり、その後、人口減少期に突入していくとともに、少子高齢化も引き続き進展するものと見込まれている。

推計のとおり、65 歳以上人口が増加し、生産年齢人口が減少を続けると、市税収入が低下する一方、医療・介護需要の増加等により、現在の行政サービスを維持していくことが困難になることも想定される。

今後も良質な市民サービスの提供やまちのにぎわいを保つためには、地域間の人口バランスを保ちながら、人口減少の到来を可能な限り遅らせるとともに、減少のスピードを緩やかにすることが必要である。

このため、本計画において、次の基本目標を掲げ、地方創生に取り組んでいく。

- 基本目標 1 いつまでも元気でいられるまち
- 基本目標 2 将来を切りひらくことのできるこどもが育つまち
- 基本目標 3 みんなが支え合うまち
- 基本目標 4 地域の絆が深く、多様性を認め合うまち
- 基本目標 5 にぎわいを生み出すまち
- 基本目標 6 安心して暮らせる安全なまち
- 基本目標 7 人と環境に優しい都市空間が広がるまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	自ら健康づくりに取り組んで	52.1%	向上	基本目標 1

	いる市民の割合			
ア	高齢の方が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合	43.7%	向上	基本目標 1
ア	健康寿命(平均自立期間)と平均寿命の差	(男) 1.80年 (女) 3.67年	(男) 1.80年 以下 (女) 3.67年 以下	基本目標 1
ア	介護予防セミナー受講者数	1,187人	1,270人	基本目標 1
ア	シルバー人材センター会員数	924人	981人	基本目標 1
ア	心身の健康の維持・増進をサポートする環境が整っていると思う市民の割合	32.4%	向上	基本目標 1
ア	肺がん検診受診率	25.6%	27.4%	基本目標 1
ア	特定健康診査の受診率	31.0%	40.0%	基本目標 1
ア	肺炎等による死亡率(人口10万人あたりの死亡者数)	101.2人	95.2人	基本目標 1
ア	自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)	13.2人	毎年13.6人	基本目標 1
ア	いざというときの診療体制が整っていると思う市民の割合	43.0%	向上	基本目標 1
ア	休日夜間急患診療所(一次救急)の年間患者取扱件数	11,536件	毎年度 13,000件	基本目標 1
ア	二次救急での中度・重度患者の割合	23.5%	27.1%	基本目標 1
ア	地域の診療所等から市立病院に紹介された患者の割合(紹介率)	78.8%	80.0%	基本目標 1
ア	市立病院から地域の診療所等	79.2%	80.0%	基本目標 1

	に紹介した患者の割合（逆紹介率）			
ア	患者満足度調査における満足度の割合	83.6%	90.0%	基本目標 1
ア	がん患者受入数(延べ)	36,381人	39,546人	基本目標 1
ア	市立病院における救急車受入件数	4,871件	5,669件	基本目標 1
ア	スポーツ活動（する、みる、ささえる）に親しんでいる市民の割合	38.0%	向上	基本目標 1
ア	市民 1 人あたりの公共スポーツ施設年間利用回数	4.98回	5.29回	基本目標 1
ア	年 1 回以上直接会場でスポーツを観戦した市民の割合	21.6%	37.3%	基本目標 1
ア	スポーツに関わるボランティア活動を経験したことがある市民の割合	11.2%	19.9%	基本目標 1
ア	女子サッカーイベント参加者数	7,511人	9,360人	基本目標 1
ア	総合型地域スポーツクラブを知っている市民の割合	14.0%	18.3%	基本目標 1
ア	生涯学習活動を行っている市民の割合	25.0%	向上	基本目標 1
ア	市民 1 人あたりの年間図書貸出冊数	5.51冊	5.96冊	基本目標 1
ア	学習団体の登録数	1,552団体	1,631団体	基本目標 1
ア	文化や芸術活動に親しんでいる市民の割合	27.7%	向上	基本目標 1
ア	芸術文化ホール年間利用者数	209,782人	306,000人	基本目標 1

ア	YAMATO ART100参加イベント数	128イベント	毎年度 100イベント 以上	基本目標 1
ア	大和の歴史や文化財は、しっかり継承されていると思う市民の割合	17.7%	向上	基本目標 1
ア	歴史文化施設の利用者数	37,025人	50,280人	基本目標 1
イ	こどもが健康に育っていると思う市民の割合	49.1%	向上	基本目標 2
イ	妊婦健康診査の平均受診回数	11.3回	毎年度14回	基本目標 2
イ	4か月児健康診査の受診率	98.6%	毎年度98.0%	基本目標 2
イ	3歳6か月児健康診査の受診率	97.9%	毎年度98.0%	基本目標 2
イ	児童支援利用計画（障害児相談支援）実利用者数	1,299人	1,767人	基本目標 2
イ	3歳6か月児健康診査で4本以上のむし歯を有する者の割合	1.65%	0%	基本目標 2
イ	虐待相談受付件数	220件	毎年度235件	基本目標 2
イ	こどもを望んだ時から子育て期間にかけて必要な支援を受けられると思う市民の割合	30.4%	向上	基本目標 2
イ	妊娠届出時に専任保健師による個別面接（相談）を受けた市民の割合	100%	毎年度100%	基本目標 2
イ	つどいの広場開設日1日あたりの平均利用者数	67.7人	90.7人	基本目標 2
イ	保育所等の待機児童数（各年4月1日）	0人	毎年度0人	基本目標 2
イ	放課後児童クラブに入会を希望する児童のうち、入会でき	99.8%	毎年度100%	基本目標 2

	た児童の割合（各年５月１日）			
イ	保育施設に対し、巡回訪問支援等を実施した施設の割合（年度ごと）	97.3%	毎年度100%	基本目標２
イ	こども・若者が安心して過ごせる場所やしくみが整っていると思う市民の割合	31.3%	向上	基本目標２
イ	こども食堂の数（こども食堂マップに掲載するこども食堂の数）	8箇所	13箇所	基本目標２
イ	児童生徒が互いの良さを生かし認め合い大切にしながら学校生活を送っていると思う市民の割合	23.6%	向上	基本目標２
イ	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童生徒の割合	96.1%	100%	基本目標２
イ	特別支援教育センターで扱った特別支援や発達に関する保護者や学校からの延べ相談件数	436件	496件	基本目標２
イ	児童生徒の個性や能力にあった教育が行われていると思う市民の割合	18.5%	向上	基本目標２
イ	学校生活を通して、児童生徒の健康な心身が育まれていると思う市民の割合	24.7%	向上	基本目標２
イ	「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考え	(小６) 86.7%	(小６) 93.4%	基本目標２

	を深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と回答した児童生徒の割合	(中 3) 87.7%	(中 3) 93.9%	
イ	「ノートや教科書、本などと同じようにPCを活用している」と答えた児童生徒の割合	(小) 89.0% (中) 82.0%	(小) 95.0% (中) 90.0%	基本目標 2
イ	「自分には良いところがあると思う」と答えた児童生徒の割合	84.8%	92.4%	基本目標 2
イ	「運動やスポーツは大切だと考える」と答えた児童生徒の割合	93.2%	96.6%	基本目標 2
イ	学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた不登校児童生徒の割合	(小) 70.9% (中) 57.6%	(小) 82.9% (中) 72.6%	基本目標 2
ウ	地域で共に助け合って生活していると思う市民の割合	28.5%	向上	基本目標 3
ウ	民生委員・児童委員充足率	93.1%	毎年度100%	基本目標 3
ウ	協議体の設置数(累計)	6箇所	12箇所	基本目標 3
ウ	介護を必要とする人が地域で安心して暮らしていると思う市民の割合	20.7%	向上	基本目標 3
ウ	介護サービス利用者の満足度の割合	67.7%	71.2%	基本目標 3
ウ	終活登録制度の新規登録者数	8人	24人	基本目標 3
ウ	認知症サポーターとなっている市民の割合	10.0%	17.0%	基本目標 3
ウ	障がいのある方が地域で自立	14.0%	向上	基本目標 3

	した生活を送っていると思う 市民の割合			
ウ	施設入所者の地域生活移行者 数（累計）	2人 (令和4年度か らの累計)	17人	基本目標3
ウ	一般就労への移行者数	50人	78人	基本目標3
ウ	国民健康保険制度における1 人当たりの医療費の伸び率 (対前年度)	3.4%	1.8%	基本目標3
ウ	保護受給世帯のうち、その他 世帯（働く世帯を含む）の割合	11.3%	毎年度11.0%	基本目標3
ウ	生活困窮自立支援の利用者の うち就労・増収した人の割合	25.0%	毎年度25.0%	基本目標3
エ	地域活動に参加している市民 の割合	13.8%	向上	基本目標4
エ	自治会への加入世帯割合	55.8%	毎年度55.8%	基本目標4
エ	コミュニティセンター1館あ たりの年間平均利用者数	9,522人	18,162人	基本目標4
エ	持続可能な地域コミュニティ づくりに向けた支援件数	20件	60件	基本目標4
エ	ボランティア活動やNPOの活 動などの、非営利かつ自主的 な活動をしている市民の割合	9.9%	向上	基本目標4
エ	協働事業の件数	12件	17件	基本目標4
エ	市民活動センター利用登録団 体数	142団体	172団体	基本目標4
エ	「出張！ボランティア総合案 内所」の来場者数	207人	277人	基本目標4

エ	やまとボランティア総合案内 所登録者数	448人	508人	基本目標 4
エ	地域に差別意識がなく、お互 いの人権が尊重されていると 思う市民の割合	28.6%	向上	基本目標 4
エ	人権意識啓発におけるイベン トの来場者数	575人	毎年度600人	基本目標 4
エ	男女がいろいろな取り組みに 平等に参加していると思う市 民の割合	24.4%	向上	基本目標 4
エ	審議会、委員会などにおける 女性委員の割合	29.5%	40.0%	基本目標 4
エ	国籍に関わらず、住民同士が 交流・協力していると思う市 民の割合	23.8%	向上	基本目標 4
エ	外国人を支援するボランティ ア登録者数	409人	毎年度400人	基本目標 4
エ	平和の尊さを実感できる機会 や取り組みがあると思う市民 の割合	13.4%	向上	基本目標 4
エ	語り部を派遣した市内小中学 校及び高校の校数	6校	毎年度10校	基本目標 4
エ	平和意識の普及、啓発事業へ の参加者数	902人	毎年度1,000人	基本目標 4
オ	大和市の商店街や企業は活気 やにぎわいがあると思う市民 の割合	24.1%	向上	基本目標 5
オ	市内商業者が商店会等に参加 している割合	60.6%	毎年度60.0%	基本目標 5

オ	やまと起業家支援スペース「Rigel」の稼働率	100%	毎年度100%	基本目標 5
オ	やまと起業サポートセミナー募集定員に対する申込者数の割合	100%	毎年度100%	基本目標 5
オ	大和市企業活動振興条例に基づく奨励金事業計画認定件数（累計）	41件	77件	基本目標 5
オ	大和市のお店や企業で働いている人は生き生きとしていると感じる市民の割合	24.2%	向上	基本目標 5
オ	就労支援に係る各種セミナーの募集定員に対する参加者数の割合	72.0%	毎年度77.5%	基本目標 5
オ	健康経営による産業表彰数（累計）	14事業者	26事業者	基本目標 5
オ	市内産の農産物を買うことのできる場所やイベントが充実していると思う市民の割合	23.3%	向上	基本目標 5
オ	農地の利用権設定面積	9.6ha	毎年度10ha	基本目標 5
オ	援農サポーターの登録者数	68人	毎年度55人	基本目標 5
オ	市民農園区画数	1,114区画	毎年度 1,100区画	基本目標 5
オ	市民農園の利用されている区画の割合	91.9%	毎年度100%	基本目標 5
オ	朝霧市、夕やけ市、おさんぽマーケットの開催1回あたりの来場者数	71人	毎年度80人	基本目標 5
オ	市内外から人々が集まり楽し	27.1%	向上	基本目標 5

	める、魅力的なイベントが多いと思う市民の割合			
オ	観光イベントの総来場者数	680,763人	1,120,000人	基本目標 5
オ	観光施設等の総来場者数	763,742人	848,000人	基本目標 5
オ	フィルムコミッションで対応した撮影件数	47件	62件	基本目標 5
カ	災害に対して備えている市民の割合	28.2%	向上	基本目標 6
カ	地域防災訓練を実施している自治会の割合	53.0%	83.0%	基本目標 6
カ	防災講話の受講団体数	26団体	44団体	基本目標 6
カ	避難行動要支援者名簿をもとに、支援体制づくりの取り組みを行っている自治会の割合	43.2%	100%	基本目標 6
カ	住宅の耐震化率	96.1%	98.2%以上	基本目標 6
カ	災害による被害を軽減するための取り組みが充実していると思う市民の割合	18.8%	向上	基本目標 6
カ	想定避難者数に応じた非常食料の備蓄率	100%	毎年度100%	基本目標 6
カ	LINEお知らせで防災情報の受信設定をしている市民の数	25,237人	31,900人	基本目標 6
カ	雨水整備率	69.8%	毎年度70.0%	基本目標 6
カ	治安が良いと思う市民の割合	45.1%	向上	基本目標 6
カ	年間刑法犯認知（発生）件数	1,790件	1,250件	基本目標 6
カ	年間特殊詐欺（発生）件数	55件	49件	基本目標 6
カ	安心して消費生活を送っている市民の割合	57.4%	向上	基本目標 6
カ	消費生活相談件数のうち、解	98.1%	毎年度100%	基本目標 6

	決済みの割合			
カ	消費生活センターの役割や業務内容について知っている市民の割合	56.0%	74.0%	基本目標 6
カ	交通事故の不安がなく暮らしている市民の割合	39.9%	向上	基本目標 6
カ	交通人身事故発生件数	661件	561件	基本目標 6
カ	交通安全教室等参加者数（イベントを除く）	15,572人	16,351人	基本目標 6
カ	自転車の適正通行率	67.5%	72.5%	基本目標 6
カ	大和市では、消防・救急・救助体制が整っていると思う市民の割合	49.7%	向上	基本目標 6
カ	火災発生率（人口 1 万人あたりの火災発生件数）	2.0件	毎年 0 件	基本目標 6
カ	救命講習受講者資格取得者数（累計）	49,359人	57,159人	基本目標 6
カ	救急車の医療機関到着までの所要時間	38.5分	38.5分	基本目標 6
カ	時間帯補正等価騒音レベル（L d e n）	60.4	逡減	基本目標 6
キ	省エネに取り組んでいる市民の割合	44.1%	向上	基本目標 7
キ	温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）	26.2%	43.8%	基本目標 7
キ	ごみの分別をしている市民の割合	88.9%	向上	基本目標 7
キ	散乱ごみが少なく、きれいだと思う市民の割合	61.9%	向上	基本目標 7

キ	市民一人1日あたりのごみ排出量	405g	400g	基本目標7
キ	リサイクル率	28.4%	29.6%	基本目標7
キ	美化推進月間ごみ回収量	5.83 t	5.54 t	基本目標7
キ	緑が多いと思う市民の割合	59.1%	向上	基本目標7
キ	保全を図っている緑地面積	84.5ha	84.5ha	基本目標7
キ	川などの水や大気の状態が良好だと思う市民の割合	38.4%	向上	基本目標7
キ	河川の水質の基準とされている生物化学的酸素要求量（BOD）	(境川) 1.4mg/l (引地川) 1.1mg/l	毎年度3.0mg/l 以下 毎年度2.0mg/l 以下	基本目標7
キ	環境基準適合率	94.6%	95.0%以上	基本目標7
キ	公害苦情への対応件数	79件	75件	基本目標7
キ	下水道出前授業の実施校数	20校	毎年度20校	基本目標7
キ	良好な街並みが形成されていると思う市民の割合	43.6%	向上	基本目標7
キ	地区計画、建築協定、地区街づくり協定などルール化された面積（累計）	138.8ha	154.2ha	基本目標7
キ	中央林間駅、大和駅、高座渋谷駅の1日あたりの乗降客数の合計	426,447人	432,844人	基本目標7
キ	北・中・南部地域の人口比率	北部：48.6% 中部：29.3% 南部：22.1%	北部：48.6% 中部：29.3% 南部：22.1%	基本目標7
キ	公共交通機関を利用しやすいと思う市民の割合	70.6%	向上	基本目標7
キ	徒歩や自転車、車でも快適に	63.0%	向上	基本目標7

	移動できると思う市民の割合			
キ	都市計画道路の整備率	65.1%	65.5%	基本目標 7
キ	コミュニティバスの 1 日あたりの利用者数	1,979人	2,009人	基本目標 7
キ	放置自転車等の移動台数（自転車等放置禁止区域）	420台	252台	基本目標 7
キ	公園を快適に利用できると思う市民の割合	54.3%	向上	基本目標 7
キ	市民 1 人あたりの都市公園面積	3.39㎡	4.00㎡以上	基本目標 7

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

大和市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア いつまでも元気でいられるまちをつくる事業

イ 将来を切りひらくことのできるこどもが育つまちをつくる事業

ウ みんなが支え合うまちをつくる事業

エ 地域の絆が深く、多様性を認め合うまちをつくる事業

オ にぎわいを生み出すまちをつくる事業

カ 安心して暮らせる安全なまちをつくる事業

キ 人と環境に優しい都市空間が広がるまちをつくる事業

② 事業の内容

ア いつまでも元気でいられるまちをつくる事業

市民一人ひとりに健康づくりが定着し、元気で暮らしていけることや、

心身の健康を維持・増進するための体制を整えることなど、健康づくり・健康増進施策に関する事業。

いざというときに診療を受けられる体制を整えることや、市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たせるようにしていくことなど、医療施策に関する事業。

スポーツに関わる人を増やすことなど、スポーツ・運動施策に関する事業。

学びに関わる人を増やすことなど、生涯学習施策に関する事業。

文化や芸術に親しむ人を増やすことや、郷土の文化をしっかりと引き継いでいくことなど、文化・芸術施策に関する事業。

【具体的な事業】

- ・健康づくりの普及啓発、活動支援
- ・各種健診の実施
- ・休日や夜間における医療体制の確保
- ・地域の病院や診療所との連携強化
- ・スポーツや運動を楽しめる機会の提供
- ・読書を含む学ぶ機会の提供
- ・市民による文化芸術活動の促進
- ・地域の文化財の保護 等

イ 将来を切りひらくことのできるこどもが育つまちをつくる事業

すべてのこどもが大切にされ、すくすくと健康に育っていくことや、安心して生み育てることができること、こども・若者の視点に立った居場所をつくることなど、こども・若者施策に関する事業。

児童生徒が多様性を認め、つながり合い、高め合うことや、確かな学力と健康な心身が育まれることなど、学校教育施策に関する事業。

【具体的な事業】

- ・支援を要する児童・家庭及び特定妊婦への支援
- ・こどもを望んだときから妊娠・出産・子育て期までの相談支援
- ・こどもが安全・安心に過ごせる場所の整備

- ・ いじめの未然防止、早期発見及び早期対応
- ・ 主体的な学習の定着に向けた支援 等

ウ みんなが支え合うまちをつくる事業

地域の中で共に助け合って生活できることなど、地域福祉施策に関する事業。

高齢の方やその家族が安心して暮らしていけることなど、高齢者福祉施策に関する事業。

障がいのある方が地域の中で自立した生活を送っていけることなど、障がい者福祉施策に関する事業。

社会保障の仕組みが安定的に維持され、効果的に活用されることなど、社会保険・公的扶助施策に関する事業。

【具体的な事業】

- ・ 地域と連携した包括的な支援体制の構築
- ・ 地域包括ケアの推進
- ・ 障がい福祉サービスの提供
- ・ 生活困窮に至ることを防ぐための支援 等

エ 地域の絆が深く、多様性を認め合うまちをつくる事業

地域活動に関わる人を増やすことなど、地域活動施策に関する事業。

公共を担う市民や事業者を増やすことなど、市民活動施策に関する事業。

あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合うことや、男女共同参画が実感できることなど、人権・男女共同参画施策に関する事業。

地域の中で多文化共生が行われることなど、多文化共生施策に関する事業。

平和の尊さが実感できることなど、平和施策に関する事業。

【具体的な事業】

- ・ 誰もが気軽に关われる地域活動に向けた環境整備

- ・市民活動や協働の取り組みの推進に向けた支援
- ・人権意識の普及啓発
- ・男女共同参画及びジェンダー平等の普及啓発
- ・文化交流事業の実施
- ・平和意識の啓発 等

オ にぎわいを生み出すまちをつくる事業

商店街や企業が持続可能性を踏まえながら活発に活動していることや、市民が生き生きと働けることなど、商工業施策に関する事業。

都市農業が営まれ、地域農産物が安定的に消費されることなど、農業施策に関する事業。

エンターテインメントがあふれ、市民のまちへの関心が高まることなど、イベント・観光施策に関する事業。

【具体的な事業】

- ・市内事業者に対する経営支援
- ・働く希望のあるすべての人が就労できることを目指した支援
- ・農業の近代化に資する施設整備への支援
- ・地域の特徴を生かしたイベントの開催 等

カ 安心して暮らせる安全なまちをつくる事業

市民が災害に対して自ら備えを行うことや、防災・減災の仕組みを整えること、都市の防災機能を充実することなど、防災施策に関する事業。

犯罪が起きにくい環境で暮らせることや、安心して消費生活を送れること、交通事故が起きにくい環境で暮らせること、十分な消防力を整えることなど、生活安全施策に関する事業。

厚木基地の騒音対策や安全対策を進めることなど、基地安全対策に関する事業。

【具体的な事業】

- ・自主防災組織及び避難生活施設運営委員会の活動への支援
- ・防災と復興に向けた公助の強化

- ・雨水の河川流入抑制も含む総合的な治水対策
- ・地域における防犯活動の推進、支援
- ・消費生活におけるトラブルなどへの相談支援及び相談員の資質向上
- ・幅広い世代に向けた交通安全に関する啓発
- ・火災予防に関する意識啓発
- ・基地問題解決に向けた県や厚木基地周辺市などとの連携 等

キ 人と環境に優しい都市空間が広がるまちをつくる事業

脱炭素社会の実現に貢献することや、清潔なまちが維持されるとともに循環型社会を実現すること、緑地が保全されるとともに市街地の緑化を進めること、深呼吸したくなる空気やきれいな水に囲まれて生活することなど、環境保全施策に関する事業。

地域の特性を活かした街が形成されることや、気軽に移動できる環境が整っていること、公園を快適に利用できることなど、都市環境整備施策に関する事業。

【具体的な事業】

- ・省エネルギー行動等についての意識啓発
- ・ごみの分別と資源の分け方・出し方のマナー向上に向けた啓発
- ・大規模緑地の適切な保全
- ・大気や水質などを汚染する物質への対応
- ・にぎわいの拠点における滞在快適性向上に向けた空間づくり促進
- ・公共交通ネットワークの維持
- ・様々な世代のニーズに対応した公園の整備 等

※ なお、詳細は第10次大和市総合計画・基本計画（大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

463,000千円（2025年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度、12月頃までに前年度の実績について外部有識者で構成される大和市総合計画審議会により検証する。また、検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで